

株式会社ダイドー

TASK AR Type S2・S3

取扱説明書

XSE7901-029-0

J2-BAA5-F048



このたびはアシストスーツ「TASK」シリーズをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、本書を大切に保管してください。

※商品のデザイン・仕様・外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

1. 安全に作業するために	3
2. 各部の名称とはたらき	5
2.1. 主要諸元	5
2.2. 各部の名称	6
2.3. 各部のはたらき	6
3. 装着手順	7
3.1. 装着手順	7
3.2. 装着 NG 例	9
4. アシスト上限角度の変更	10
4.1. アシスト上限角度の切り替え可能角度	10
4.2. アシスト上限角度の切り替え操作手順	11
5. アシストパワー	12
5.1. アシストパワーの範囲	12
5.2. アシストパワーの調整手順	12
6. 高さの調整	13
6.1. 高さの調整範囲	13
6.2. 高さの調整手順	13
7. 背部フレーム幅の調整	14
8. 腕部ユニットの調整	15
9. メンテナンスとトラブルシューティング	16
9.1. 定期点検	16
9.2. 保管時の取り扱い	17
9.3. 輸送する時の取り扱い	17
9.4. 廃棄する時の取り扱い	17
10. 製造販売元・お問い合わせ	18

1. 安全に作業するために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。

内容（表示・記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。



「してはいけないこと」を表しています。



「しなければならないこと」を表しています。

■免責事項

地震、雷、その他の自然災害、当社の責任以外の火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。

本製品及び製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。



警告

	飲酒している方、睡眠不足の方、妊娠中のご婦人、16歳未満の方、過労、病気の方は使用しないでください。
	歩行動作等に支障のある場合や、腰・ひざ・腕・その他本製品を使用するにあたり支障のある関節に疾病がある場合は使用しないでください。
	使用者の能力を超える重量物の保持には使用しないでください。
	本製品を分解しないでください。（本書にて説明する調整部位を除く）
	本製品を改造して使用しないでください。
	以下のような破損の原因となる行為、乱暴な取り扱いをしないでください。 ・本製品および付属品に乗る・座る・踏むなど、強い負荷を与える ・本製品および付属品を落下させたり、放り投げたりする ・本製品および付属品を火中や水中に投じる
	本製品は衣服を着た上に装着してください。



注意

	0～40℃の範囲を超える環境下で使用・保管しないでください。
	激しい雨や著しい粉塵の環境下で使用・保管しないでください。
	アンモニア、酸、塩分、オゾンガスなどの腐食性ガスまたは引火性ガスのある場所では使用・保管しないでください。
	使用前に定期点検項目を確認してください。
	着脱する際は、周りに人・物などがいないことを確認してください。
	着脱は本書の手順に沿って適正に行ってください。
	各調整部位の交換・調整を行う際は、本書の手順に沿って行ってください。
	使用後は、各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてください。
	本製品を保管する際は、水・粉塵・火気がないか確認してください。

これら以外にも、本文の中で警告・注意事項としてそのつど取り上げています。

2. 各部の名称とはたらき

2.1. 主要諸元

		
製品名称	TASK AR Type S2	TASK AR Type S3
肩装具	なし	あり
全長（非装着時）	150 mm	150 mm
全幅（非装着時）	550 mm	550 mm
全高（非装着時）	660～860 mm (10 段階調節)	660～860 mm (10 段階調節)
重量	1.6 kg	1.7 kg
動力	ショックコード	ショックコード

TASK AR Type S2 と S3 の違いは、肩装具の有無になります。

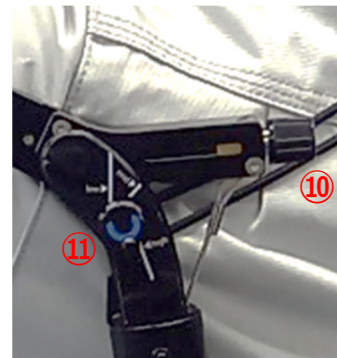
2.2. 各部の名称



- ① 腕部クッション ② 腕部ユニット ③ 腕ストラップ
④ 肩ストラップ ⑤ 胸ストラップ ⑥ 腰ストラップ
⑦ 腰部ユニット ⑧ 背部フレーム
⑨ アクチュエータユニット ⑩ パワー調整ツマミ
⑪ 角度変更レバー

※写真は Type S3 です。Type S2 には④⑤は含まれておりません。

⑨ 拡大図



2.3. 各部のはたらき

- ① 腕部クッション、② 腕部ユニット、③ 腕ストラップ
アシストスーツを上腕に固定するために使用します。
- ④ 肩ストラップ、⑤ 胸ストラップ
アシストスーツを肩に固定するために使用します。
- ⑥ 腰ストラップ、⑦ 腰部ユニット
アシストスーツを腰に固定するために使用します。
- ⑨ アクチュエータユニット
上腕を持ち上げる力を発生させます。
- ⑩ パワー調整ツマミ
このツマミを回転させることでアシストパワーを調整できます。
- ⑪ 角度変更レバー
このレバーを回転させることでアシスト上限角度を 3 段階で調整できます。

3. 装着手順



注意

- 着脱する際は、周りに人・物などがいないことを確認してください。
- 着脱は本書の手順に沿って適正に行ってください。

装着動画はこちら

TASK AR Type S2



TASK AR Type S3



3.1. 装着手順

本手順の写真は Type S3 です。Type S2 には肩ストラップ・胸ストラップは含まれません。

- ① 肩ストラップに両腕を通して背負います。



※Type S2 は下図のように背負ってください。



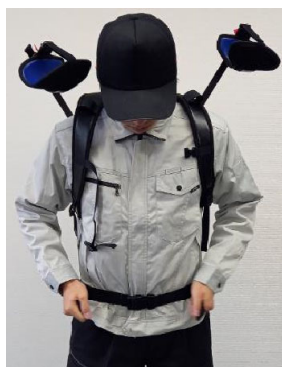
- ② 腰ストラップのバックルを留めます。



- ③ 肩ストラップのベルトを引き、フィットするように適度に締めつけます。



- ④ 腰ストラップのベルトを引き、フィットするように適度に締めつけます。



- ⑤ 胸ストラップのバックルを留め、フィットするように適度に締め付けます。



- ⑥ 腕部ユニットを引き寄せ、赤いストラップを引いて腕ストラップのバックルを外してください。



- ⑦ 腕部クッションに腕を乗せ、腕ストラップのバックルを留めます。



- ⑧ 反対側も同様に装着します。

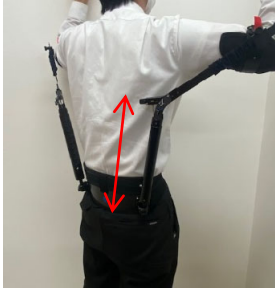
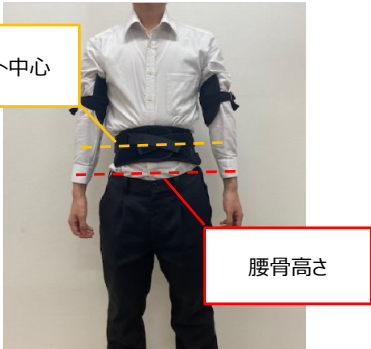
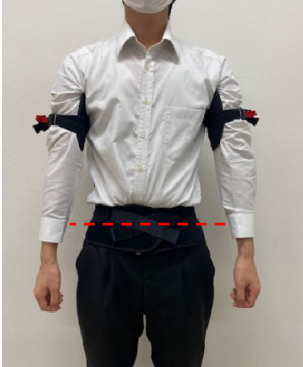


- ⑨ 装着完了



3.2. 装着 NG 例

本手順の写真は Type S2 ですが、NG 例は Type S2/S3 に共通しています。

NG	OK
背部フレームの高さが低すぎる 	背部フレームの高さを適正位置まで上げる 
腰部ユニットの装着位置が高い（低い） 	腰骨と腰部ユニット中心を合わせる 
腰部ユニットが中心からずれた状態 	身体と腰部ユニット中心を合わせる 
腕ストラップを力こぶの上で留めている 	腕ストラップは力こぶの下あたりで留める 

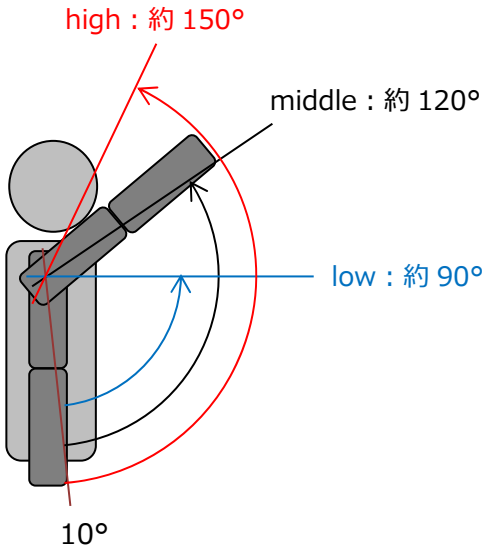
4. アシスト上限角度の変更



注意

- アシスト上限角度の変更は、アシストスーツを脱いだ状態で行うか、装着中に変更する場合は装着者以外の人が操作を行ってください。
- アシスト上限角度の変更は、アクチュエータユニットが操作可能角度内にあるときに操作ができます。操作可能角度外での無理な操作は破損の原因となりますのでおやめください。
- アシスト上限角度を変更する際にもアシストは効いていますので、腕フレームの跳ね上がりにご注意ください。

4.1. アシスト上限角度の切り替え可能角度

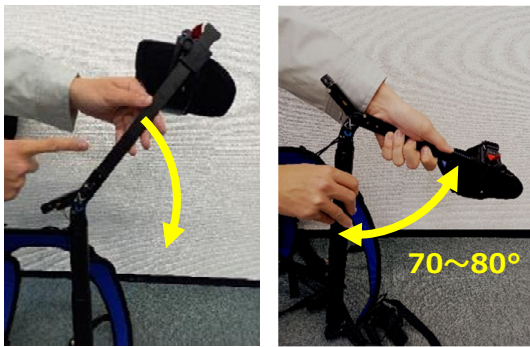
high	middle	low
		
約 10°～150°までアシスト	約 10°～120°までアシスト	約 10°～90°までアシスト
 high : 約 150° middle : 約 120° low : 約 90° 10°		

4.2. アシスト上限角度の切り替え操作手順

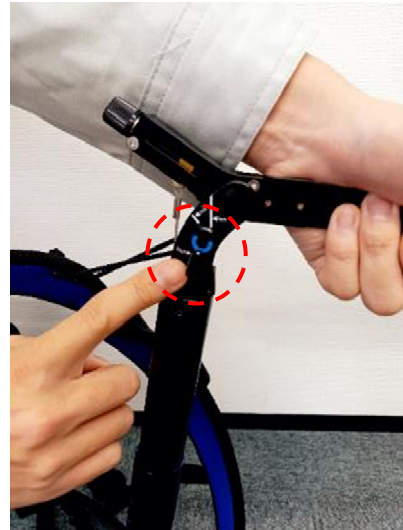
■ 左右それぞれのアクチュエータユニットにはアシスト上限角度を切り替えるレバーが備わっており、それぞれ独立して切り替えが可能です。

■ 下図で示すように、アクチュエータユニットが操作可能角度内にあるときのみ、角度変更レバーが操作できるようになります。

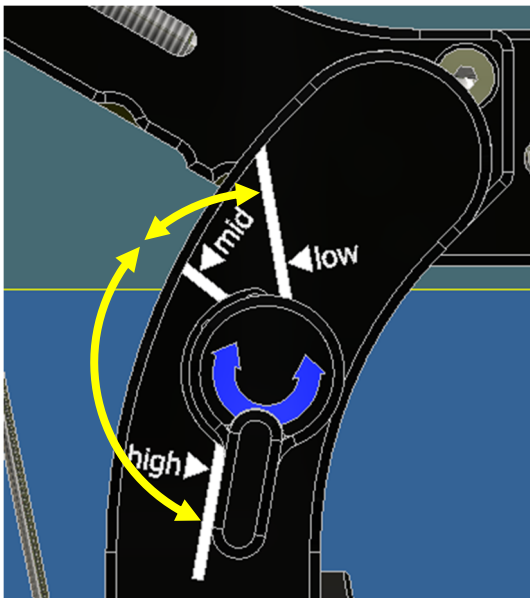
① まず最初に腕フレームを操作可能角度になるように下におろします。腕フレームと背部フレームのなす角度が 70～80°を目安にしてください。



② 次に角度変更レバーを操作します。



③ 角度変更レバーを high・mid・low の白ラインに合うように回転させます。（カチッという音が鳴ります。）



※ 装着中に変更する場合、装着者は腕を下ろし、装着者以外の方がレバー操作を行ってください。



5. アシストパワー

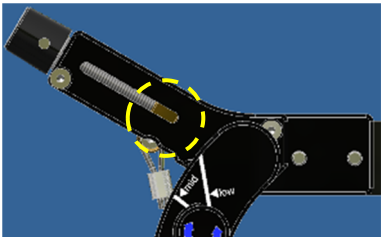
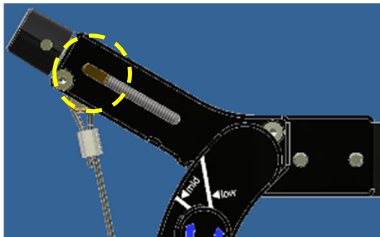


注意

- アシストパワーの調整は、本製品を脱いで安定した面に静置して行ってください。
- アシストパワーの調整は、アシスト上限角度が high の状態で行ってください。
- アシストパワーが発生している状態や、アシスト上限角度が middle・low の状態でアシストパワーの調整を行うと破損の原因になりますのでおやめください。

5.1. アシストパワーの範囲

■ アシストパワーはパワー調整ツマミにて無段階調整できます。金色のインジケータを目印にしてください。

Min		Max
	⇔	
1.5 kgf	～	3 kgf

5.2. アシストパワーの調整手順

① 角度変更レバーを high にしてください。



② 腕フレームを跳ね上げてください。



※ツマミを右回してパワーアップします。



※ツマミを左回してパワーダウンします。



6. 高さの調整

- 本製品は、装着者の身長に合わせて高さの調整ができます。
- 対象身長の目安は 150cm～190cm です。
- 初めて装着する際は以下に示す採寸を行い、サイズ対照表にて適合サイズを確認してください。
- 調整方法は目安ですので、装着者の体型に合わせて快適な位置になるよう調整して下さい。

6.1. 高さの調整範囲

サイズ対照表										
身長[cm]	150	154	158	162	166	170	174	178	182	186
	～ 154	～ 158	～ 162	～ 166	～ 170	～ 174	～ 178	～ 182	～ 186	～ 190
背部フレームの数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

6.2. 高さの調整手順

- ① 背部パイプのボタンを押込み、目的の数字の位置までパイプをスライドさせます。



- ② 数字の横の穴からボタンが飛び出したことを確認してください。



7. 背部フレーム幅の調整

- 本製品は、装着者の腰幅に合わせて背部フレーム幅の調整ができます。
- 調整可能幅は 20cm～30cm です。
- 調整方法は目安ですので、装着者の体型に合わせて快適な位置になるよう調整して下さい。

① 背筋を伸ばして立ち、骨盤の突起部の投影幅を採寸してください。



② 腰ユニットからクッションをはずします。



③ 中央のアジャスタを調整します。



※ボールジョイント間のピッチが、採寸した寸法から 10cm を差し引いた寸法になるように調整してください。



④ クッションを元に戻して完了です。



8. 腕部ユニットの調整

■ 本製品は、装着者の上腕長に合わせて腕部ユニットの調整ができます。

- ① 腕部ユニットのノブを1回転まわしてゆるめてください。



- ② 腕部ユニットを前後にスライドさせて装着者に合った位置に移動させてください。



- ③ 腕部ユニットのノブを締めてください。



9. メンテナンスとトラブルシューティング

9.1. 定期点検

項目	頻度	解決方法/メンテナンス方法
締結部の緩み	使用前	各締結部がしっかり固定されているか確認してください。緩みがあればしっかりと締めこんでください。
装具の破損	使用前	装具のステッチおよび表面の損傷・劣化がないか目視および手で触れて確認してください。全てのバックルが正しく機能するか確認してください。損傷・劣化・機能不全が見られた場合は、対象の装具の使用を中止・交換してください。
金属部品の割れ・破損	使用前	使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。
異音・動作不具合	使用前・中・後	使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。
アシスト力が発生しない	使用前・中・後	使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。
粉塵・水滴の付着	使用后	各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてください。
装具の汚れ、汗	使用后	表面の汚れは、軽く濡らした布で拭いてください。 汚れのひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませて拭き、さらに水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。 その後風通しの良い場所で陰干ししてください。

9.2. 保管時の取り扱い



注意

- 各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてから保管してください。
- ほこりの少ない場所で保管してください。
- 0～40℃の範囲を超える環境下で保管しないでください。
- 激しい雨や著しい粉塵の環境下で保管しないでください。
- アンモニア、酸、塩分、オゾンガス等の腐食性ガスまたは引火性ガスのある場所は避けてください。
- アシスト上限角度を high にして保管してください。

9.3. 輸送する時の取り扱い



注意

- アシストスーツの破損を防ぐため、緩衝材で覆い、ダンボール等の箱に詰めて輸送してください。

9.4. 廃棄する時の取り扱い



注意

- アシストスーツ本体は廃棄物処理法に従って処理してください。
- 基本的には燃えないごみとして処理してください。（燃えるごみではありません）

10. 製造販売元・お問い合わせ



株式会社ダイドー

〒586-0037 大阪府河内長野市上原町 250-2

URL : <https://daydo.jp/>

使用方法・故障などに関してのお問合せは下記 URL または QR コードからお願いいたします。

<https://daydo.jp/contact/>



memo